



の持ち味、個性、人柄

60歳のとき長島へ1ターン

インターナショナルゴルフリゾート京セラ（さつま町）を舞台に9月21日、22日の2日間、LPGAシニアトーナメント「京セラレディースオープン in さつま」第1回大会（パー74）が開催されました。この大会の初日に行われた「チャレンジカップ」で優勝した指江の山本太市さん（69）を追いました。



大会終了後に記念撮影する山本さん（右）とLPGA樋口会長（中央）、左は和子夫人

やまもと たいち
山本太市さん（指江）

近年のゴルフ歴

平成 16 年

日本ミッドシニアゴルフ選手権競技の九州・沖縄予選で本大会出場権を獲得

日本ミッドシニアゴルフ選手権競技で5位

平成 17 年

日本スポーツマスターズ 2005（ゴルフ団体戦）に鹿児島県代表として出場し、優勝

平成 18 年

日本ミッドシニアゴルフ選手権競技の九州・沖縄予選で本大会出場権を獲得

日本ミッドシニアゴルフ選手権競技で39位
京セラレディースオープン in さつま「チャレンジカップ」で優勝（エージシュート達成）

「チャレンジカップ」でエージシュート達成

ゴルフを通じて親交深めたい

山本さんは、金田裕美プロ・鈴木志保美プロと同組でプレーした。

同大会は、45歳以上の社団法人日本女子プロゴルフ協会（LPGA）樋口久子会長（会長）を対象としたシニアトーナメントで、吉川なよこプロが通算6アンダーで優勝しました。このトーナメントと同時開催された「チャレンジカップ」は、予選を勝ち抜いた60歳以上の男性アマチュア30人が参加して、第1日目にプロ・アマ混ざっての組み合わせでラウンドが行われました。

し、両プロを上回る5アンダー、69ストロークで見事優勝。1ラウンドを年齢以下のスコアで回るエージシュートも達成されました。

京都生まれの山本さんは、25歳まで京都で生活し、26歳から60歳まで大阪で仕事に追われながら暮らしてきました。長島へ1ターンしてきたのは会社を定年退職した60歳のとき。「（関西地方とは）気温が約4度違う。温暖な気候は長生きの要素」と身体を気遣い、新鮮な魚や温泉があつて、東シナ海を望める雄大な長島に魅力を感じて定住されました。

として認証（現在はアマチュア）された経歴を持ち、今回のチャレンジカップをはじめ、昨年開かれた日本スポーツマスターズ富山大会（ゴルフ団体戦）で優勝するなど、数々の大会で活躍されています。

ゴルフ以外では、長島に来てからはじめたという陶芸が趣味で、こちらも鹿児島陶芸展に2回出品して2回とも入選するほどの実力です。

「健康でゴルフができること。陶芸で入選すること」を楽しみにして生活している山本さん。「ゴルフを通じて、長島の人と親交を深めたい」と未来を見つめています。